

肝臓病検診

令和6年度から肝臓病に関する検診が変わります。
従来の「肝炎ウイルス検査」に加えて、「肝臓病リスク評価」が追加になります。

肝臓病リスク評価

血液検査の数値と年齢から計算によって肝臓病のリスクを評価します。
40歳以上75歳未満で特定検診を受けた方すべてが対象になります。

肝炎ウイルス検査

肝臓がんの約6割は肝炎ウイルスの感染が原因です。
肝炎ウイルスの感染は飲み薬で治療が可能です。
今まで肝炎ウイルス検査を受けたことがない40,45,50,55,60歳の方が対象になります。